

## 事業計画書(その 1)

<p><b>団体の目的</b> * 定款, 規約, 会則等に定めている目的を, そのまま転記してください。</p> <p>この法人は、心理的問題や発達のおつまずきのあるご本人とご家族からの相談に応じ、支援及び訓練の場を提供することで、彼らのクオリティ・オブ・ライフ (Quality of Life。人生の内容や社会的にみた生活の質。以下 QOL と略す。) の向上を目指す。また、地域社会への普及・啓発活動を通じて、人々の心の病や発達障がいに対する理解を深め、誰もが生きやすい社会の実現に寄与することを目的とする。</p>
<p><b>事業の分野</b></p> <p>保健, 医療又は福祉の増進    社会教育の推進    まちづくりの推進  観光の振興    農山漁村又は中山間地域の振興    学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興  環境の保全    災害救援    地域安全    人権の擁護又は平和の推進    国際協力  男女共同参画社会の形成の促進    子どもの健全育成    情報化社会の発展  科学技術及び学術の推進    経済活動の活性化    職業能力の開発及び雇用機会の創出  消費者保護    団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助</p>
<p><b>事業の概要</b> * 事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>倉敷市市内在住で、学習塾に通う経済力のない世帯や、家で落ち着いて学習する環境がない少年を対象にボランティアスタッフによる学習支援を提供する。また、そのような環境にある少年に落ち着いて過ごせる居場所を提供する。</p>
<p><b>社会的背景と解決しなければならない課題</b></p> <p>* 提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。</p> <p>6 人の 1 人の子どもが相対的貧困状態にあるとされています。貧困は学力や意欲を低下させ、不利な条件での就労につながり、貧困は連鎖していきます。また、貧困状態の世帯では、子どもの教育にかけられる資本が限られており、不利な状態で学習をしているとされています。貧困の連鎖を断ち切る事、子ども達が平等に教育を受けられるようにする事が必要です。</p>
<p><b>受益者の範囲</b> * 提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。</p> <p>倉敷市内在住の小学 4 年生 ~ 概ね 20 才まで</p>
<p><b>事業の成果</b> * の課題に対して、事業を実施することで得られる成果とは何ですか。</p> <p>利用者の学力の向上や資格の取得を目指す。また、学校との連携により子どもの貧困問題がより広く認識されることを目指す。</p>
<p><b>事業の目標</b></p> <p>* の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。継続して利用している利用者数が 4 名以上となることを目標とする。</p> <p>利用者の高校卒業や不登校の予防が目標である。そのために、保護者や利用者の反対がなければ、利用者の所属する学校と 1 度はケース会議をおこなう。他の市民団体と協力して各団体の活動と子どもの貧困問題を普及啓発するポスター・チラシを学校に配布する。</p>

## 事業計画書(その 2)

## 事業の詳細

\* 実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

## 方法

対象者: 倉敷市内在住の少年のうち、経済的な事情等で塾にいけない、家庭や学校が落ち着かないと感じている者(小学校 4 年 ~ 概ね 20 才)

実施場所: 当法人事業所

実施日時: 毎週土曜日 18 時から 19 時 30 分

実施すること: 学校の宿題の補助や通信制高校の場合はレポート作成の補助を行う。また、季節のイベントを実施する。

スタッフ: 当法人の社員 2 名、アルバイト(心理士・ソーシャルワーカー) 2 名、大学生のボランティア

利用手順: 倉敷市福祉援護課や倉敷市生活自立相談支援センターにパンフレット等を配布し広報する。また、市民団体や NPO 法人とも情報交換を行い、生活困窮世帯に情報を届ける。そして利用希望者と面談の後、利用を開始する。

支援の必要な世帯に情報を届けることが利用者の増加に必要不可欠である。1 年目の活動では、知名度の低さから支援の必要な世帯に情報を届けることが困難であった。特に、私たちが直接情報を届けることは困難であった。この問題の解決のために既に活動をしている市民団体や生活自立相談支援センターや児童家庭支援センターと連携した情報を発信する。そのため、2 年目以降は市民団体や関係機関とより緊密な連携がおこなう。また、学校への広報もおこなう。子どもと接する教諭に活動を知ってもらうことが重要であると考えられるため倉敷市学習支援教室からすばと連携しポスター・パンフレット等を作成し学校に配布する予定である。

さいころくらは、行かなければならない場所ではなく、子どもたちが来て楽しい場所、落ち着ける場所であることを重視する。そのため、大学生のボランティアと子どものナナメの関係を重視する。これは、大学生のボランティアは困ったことは相談されるが、ボランティアが子どもを指導教育する縦の関係ではない。しかし、友だちのような横の関係でもない。思春期にはこのようなナナメの関係が築ける居場所があることが重要視されている。また、モデルとなる大学生のボランティアと接することで、学習することの意義を見出しやすくなるものと考えられる。なお、利用者の経済的な事情を鑑み、利用料は頂かないものとする。

**受益者負担** 団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

\* 参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

\* 「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

生活困窮世帯の少年を対象としているため、利用料の支払いが難しいケースが考えられる。



## 予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	0	
会費からの繰入金	36000	
そ の 他	10000	寄付金
市補助金	184000	
合 計	230000	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項 目	金 額	内 容
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	0	
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	24000	アルバイト人件費: 1000 円 × 24 時間
	謝 金 (講師等に支払うもの)	10000	研修講師謝金: 5000 円 × 2 名
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	30000	ボランティア交通費: 1 回 200 円 × 3 名 × 50 回
	消耗品費	30000	参考書・書籍等
	印刷製本費	40000	ポスター・広報製作費
	通信運搬費	3000	切手・広報郵送代等
	保険料	0	
	使用料, 賃借料	68000	事業所賃料: 1 時間あたり 900 円 × 1.5 時間 × 50 回
	委託料	0	
	小計	205000	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費	0	
	食糧費	25000	利用者・ボランティア用のお茶など (500 円 × 50 回)
	その他	0	
	小計	25000	
合 計	230000		

(記入上の注意)

団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。  
 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。  
 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)  
 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。